

# 新 不 動 心

平成 22 年 12 月  
第 22 号  
発行 普 照 院

\*当寺院の過去の経緯から、薬仙寺前住職との親交が深かった方もおられるかと思しますので、下記のご案内をさせていただきます。

## 普照院住職の師僧である薬仙寺住職が、遷化されました。

突然ではございますが、当院のこれまでの事業を手助けしていただいた、私の師僧であり義父でもある時宗 薬仙寺住職後藤俊雄師が、去る 10 月 18 日遷化致しました。皆様より生前中賜りました御法愛を、厚く感謝申し上げます。

つきましては薬仙寺前住職 本葬儀式を、<sup>じしゅうほっすげいか</sup>時宗法主猊下御親修のもと、下記のとおり勤修致しますので、ご縁のあった方でお時間がございます方は、御参列いただければと思います。

日時： 平成 22 年 12 月 9 日（木） 午前 11 時より

場所： 時宗 薬仙寺本堂（\* 薬仙寺は普照院の隣にございます。）

本当に突然の遷化でございましたので、徒弟（弟子の意）である私も動揺の日々でございました。しかし僧侶として本葬儀を勤めるべく、その準備に追われる中、師僧がお書きになった下記の法話の一文が目にとまりました。

『無常の足音はいつやってくるか分からない。予告もない。  
だからこの時の為にも、毎日毎時間を大切に生きること。亡き人への真の供養とは、亡き人が喜んで下さるような生き方をすることです。  
親子、兄弟、夫婦に代わって生きて差し上げることはできません。  
しかし、故人の願いを受け継いで生きていくことは出来るのです。亡き人は、後に残った人の生き方の上に、生き続けることが出来るのです。  
毎日の生き方を大切にす。これが亡き人への一番の恩返しです。』

普照院の住職としてこの言葉を遺訓とし、今後も日々精進してまいりたいと思います。

合掌

## 普照院舞子境内墓地をご使用の皆様へ

いつも当寺院墓地護持にご協力いただき、誠にありがとうございます。

なお墓地使用者・住所等に変更がございました方は、早急にご連絡下さい。同封の『振込取扱表』の通信欄に、ご記入いただいても申請可能です。**特に『普照院を菩提寺としない』墓地使用者の方で、墓碑改築や納骨等がある場合、事前に必ずご一報下さい。**

本年の秋彼岸後に、墓園一部参道で舗装化工事を行いました。今後も皆様に気持ち良くお参りいただけるよう尽力してまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

### 【平成 23 年のお寺行事（予定）】

月	日	行事	内容
1月	1日	修正会	午前0時より、本堂にて。
2月	15日	涅槃会	午後2時より、本堂にて。
3月	21日	春彼岸墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	24日	春彼岸塔婆供養会	午後2時より、本堂にて。
4月	8日	釈迦生誕祭(花祭り)	午後2時より、本堂にて。
5月	29日	先代 23 世 義天和尚 33 回忌法要（予定）	午後2時より、本堂にて。 *前住職山崎義天和尚の33回忌法要です。
8月	7日	盆墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	16日	盆施餓鬼・初盆精霊 供養法要	午後2時より、本堂にて。
	23日	地藏盆【地域行事】	午後6時より、本堂地藏尊前にて。
9月	23日	秋彼岸墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	26日	秋彼岸塔婆供養会	午後2時より、本堂にて。
12月	8日	成道会	午前中、舞子墓園にて（参詣は要事前申込）
	27日	歳末墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。

\*変更等がある場合は、後日ご連絡させていただきますので、ご容赦下さいませ。

#### 〔編集後記〕

本年は4月に新本堂落成式を無事お勤めすることができ、今後の寺院運営に新しい光明が差し込んだことを喜び合ったのも束の間、その移転事業に多大なお力添えをいただいた薬仙寺住職が、突然遷化されてしまいました。これからの普照院の発展を最後まで気にかけていただいた反面、逆に自分のお寺である薬仙寺のことにに関して、色々なことをやり残されてしまったように思います。今後は、義兄である薬仙寺新任職をお助けしながら、師僧に浄土の彼方で安心していただけるよう、当寺院の護持発展並びに墓園維持管理に努めてまいりたいと思いますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

合掌

発行；[時宗 慈光山 普照院]

責任者 小田義宗

652-0853 神戸市兵庫区今出在家町 4 1 29

電話・ファックス 078 671 1787 ホームページ <http://fusyoin.com/>

